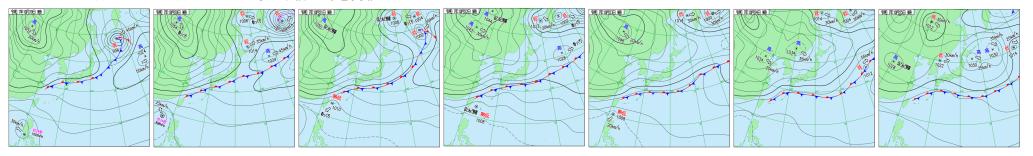
■天気図(10月19日~10月25日 ※毎日午前9時を掲載)



【今期間の天候について】

■気圧配置の特徴

19日、発達した低気圧が千島近海を東進。低気 圧からのびる前線が本州の南~東シナ海へのび停滞 した。20日、大陸から上空に強い寒気を伴う高気 圧が本州付近に張り出した。本州付近は西高東低の 気圧配置。台湾付近から本のはるか東にかけて前線 がのび停滞。21日、シベリアに中心を持つ高気圧 が北日本方面に張り出し、寒気が南下。台湾付近か ら本州の南、の本のはるか東にかけて前線がのび、 本州の南で前線停滞。22日、大陸のシベリア高気 圧が本州付近に張り出し、北日本付近に上空の寒気 が停滞。本州の南には秋雨前線が停滞。熱帯低気圧 が先島諸島の南で停滞。23日、前線が東シナ海~ 日本の東に停滞。大陸のシベリア高気圧が本州付近 に張り出した。24日、前線が東シナ海~日本の南 に停滞。高気圧が沿海州から日本海へ移動。25 日、高気圧が千島の東を南東へ移動。前線が東シナ 海~日本の南に停滞した。

■降水

19日、台風24号から前線に向かう湿った空気の 影響で南西諸島を中心に雨雲が活発化し、先島諸島 では激しい雨となった。20日、日本海側は、大気 の状態が不安定となり、北海道や北陸、山陰などで 雨。北海道では稚内や旭川、網走で初雪を観測。21 日、北海道~東北北部の日本海側で雨、一部東北で も標高の高い所では雪に。また、前線の雨雲が関東 ~九州・沖縄地方の太平洋側で広がった。22日、 北海道は、上空の寒気の影響で雨や雪。一方、南西 諸島では警報級の大雨となり、沖縄県波照間の24 時間雨量は、観測史上最大となる 478.0mm を記録し た。23日、前線が停滞する沖縄は非常に激しい雨 を観測した地点があった。また、九州南部にかけて も雨が降った。24日、前線が停滞する南西諸島で は断続的に雨。関東も高気圧を回る湿った空気の影 響で朝から弱い雨が断続的に続いた。25日、湿っ た空気の影響で引き続き南西諸島では雨。鹿児島県 奄美市笠利で38.0mm/hの激しい雨を観測。

■気温

19日、前線が本州の南に南下。東~西日本では 暖気の影響が弱まった。また、日本海側では北風が 吹き、前日に比べ気温が低下。20日、北海道上空 には初冬の空気が流れ込み、旭川の最高気温は 7.6℃、札幌では10.1℃となった。21 日、北海道上 空には初冬の空気が流れ込み、青森や盛岡で初冠 雪。22日、上空の寒気、本州の南にのびる前線の 影響で多くの所で曇りや雨。気温は上がらず、東京 都心の最高気温は未明1時ごろに観測した15.4℃ で、日中は12月並みの寒さとなった。23日、前線 が南下、東北~西日本にかけて日差しが戻り前日に 比べ気温が上がった。西日本では真夏日地点となっ た所も。24日、関東は断続的に雨が降り続き、気 温は上がらず。東京都心は11月中旬並みとなる 16.9℃を観測した。25日、西~東日本、東北にか けて雨が降り、各地で気温の上りは鈍かった。関東 は北寄りの冷たい風が吹きつけ、最高気温は今季最 も低い 13.5℃と 12月中旬並みの気温となった。

■今期間(10月19日~10月25日)の天候のまとめ

平均気温は、上空の寒気の影響を受けた北日本で平年よりかなり低かった。札幌や網走では平年より 3.7℃ほど低かった。一方、西日本では暖かい空気に覆われ やすく、平年より高い地点が多かった。

降水量は、寒気の影響で北海道の日本海側で平年より多かった。また、日本の南に停滞した前線の影響で、西日本の太平洋側から南西諸島にかけて平年より多く、先島諸島では平年の10倍を超える大雨となった。

日照時間は、上空の寒気や、暖かく湿った空気の影響で全国的に雲が広がりやすく、平年並みか平年より少ない地点が多かった。東日本~西日本の太平洋側では 平年より低く、東京では平年の1割ほどの日照時間となった。

